

日めくりカレンダーとわたし

えのもと ともこ
榎本 朋子

●自治労 総合企画総務局長

私の部屋に日めくりカレンダーがあります。先達の名言・格言が書かれた簡素なもので、これをめくることが私の日課と自分自身への励みや戒めとなっています。でも時々めくり忘れて日数があわずに困ってしまうこともあります。

そのカレンダーの1枚にこんな文言があります。“他人に変わって欲しければ、自ら率先して変化の原動力となるべきだ。”インド独立の父と言われるマハトマ・ガンジーが言ったとされるものです。でも大切なことは誰の言葉かよりも、その言葉の持つ意味の解釈ではないでしょうか。皆さんはどのような解釈をしますか？

友人に東北の出身者がいます。その友人がこんなことを言っていました。「喋ると喋りすぎると言われるし、喋らないでいると何で喋らないんだと言われる。その加減が難しいから喋らない方がいい」と。かと思えば何にでも理屈をつけて喋りたがる友人もいます。また、浪曲を聴くのが趣味という友人が言っていました。「演目の中のセリフに『一日一回恥をかかないと生きてる気がしねえ』という博徒のセリフがあるのよ。こういうのをなんていうか知ってる？」「う～ん知らない」と私。「厚顔無恥っていうのよ」と友人。続けてこうも言った。「でも、この博徒は恥を恥と思っているからねえ。『募っているけど募集は…』と言ったアノ人は無恥プラス無知だものねえ」。もっとも今の高校生の8割が「厚顔無知」を正解とするそうです。

言葉は時代を経てその解釈も変化すると言われていています。“情けは人の為ならず”もそうです。字面そのままに解釈する人も見受けられ、本来の意味を理解している人と拮抗しているようです。テーマや専門的なものによっては知らない言葉も多くありますが、常識的な基本の基くらいはわかっているほしいと思います。ましてや国民を代表する人となればなおさらのことです。「永田町の常識は社会の非常識」と言われた時期もありましたが、今でもこの呼び名は残念なことに健在です。いわゆる「永田町言葉」なるものがあるそうですが、議員バッジをつけた途端に人格や資質が劣化するのはどうしたことでしょう。

組織の要は人の資質やその人の言葉で成り立つとも言われます。口先だけではなく実行が伴ってこそその言葉です。不言実行もいいですが、私は有言実行に魅力を感じます。人の話をよく聞くことは大切なことですが、聞くだけに終始し自分の考えが定まらないのも困りものです。いずれにしても必要とされる個人や組織であり続けるためにも言葉は大切にしていきたいものです。

そういえばカレンダーにこんな文言がありました。「夢を叶える一番の良い方法は、夢から目覚めて行動することにある」と。さて明日はどんな文言でしょう。